

戦前まで 暮らした田端



▲昭和6年4月 家族写真
前列左端・沙弥郎8歳 後列右・久太
(滝野川第一小学校在学時代)



▲洋画家の父・柚木久太から贈られた写真帖
生後5日目の大正11年10月～昭和8年5月まで約60枚もの写真が収められている。久太が撮影したものがほとんどで、父からの慈愛の象徴といえる。



▲砂遊びをする子どもたち 昭和3年
左から2人目・沙弥郎。田端の自宅は100坪くらいだったという。庭で映画会をしたり、縁側を舞台に芝居をしたりと、子どもがたくさん集まった。近所に暮らした室生犀星の長女・朝子（右端）も映る。

現在のアトリエ

▼渋谷区にある自宅のアトリエ

日当たりが良く天井の高い3階のアトリエ。部屋には自らの審美眼で蒐集した民藝品や、玩具が並ぶ。好きなものに囲まれていると創作意欲が湧くという。平成3年に女子美術大学学長を退任した頃から、染色のほかに、絵本・版画・切り絵など表現の幅が広がった。訪れた際は切り絵の制作中であった。

